

essay

占拠」します。 遊びにきてね。

実は、僕はこの占拠の最初を覚えていない。それもそのはずだ。なんてたって、この占拠をしよ
うと、ルー大生の間で決められたとき、資本主義のイヌよろしくバイトの日々に明け暮れていたか
ら。

ある日、友人から一通のメールが届いた。

「ルー大図書館前を占拠します。遊びに来てね。」

一瞬、何のことだか訳がわからず、二度三度と見直した。しかし、そこにはしっかりと書かれてい
る。

「ルー大図書館前を占拠します。」

占拠。占拠という言葉には様々なイメージが付きまとう。プラスとマイナス、どちらかといえば、

マイナス寄りのイメージ。

3月10日の夜、宣言通りにルー大図書館前の小高い法文棟の横には、サカサミみたいな青白のテントに、鶴頭型の
テントが二つ、寄り添っていた。そこでは、学生と教員とよくわからない人と、とにかくいろんな種類のニンゲンがう
よよとして、一つの鍋を食っていた。3月とはいえ、ルー大内はとにかく風が強くて寒い。手を擦り、足をふるわせて
んでんバラバラ飯を食っていた。これが後に占拠飯と名付けられる飯の風景。

堪え性のないルー大生たちの予定では、3日テントが立てれば良いよね～、と思っていたのだが、気づけば一月も
テントは立っていて、でもこのテントはただ立っていたわけではなくて、明らかに紆余曲折しつついろいろなひとに助け
られて、立っていた。

思い出すのは、気持ちの良い午後の日差しや透き通った空気の向こうに輝く星の煌めきを、切り裂き飛び去っていく
米軍のヘリの音、暖かな陽気にうつらうつらと寝ぼける僕らを、遠巻きに顔を背けながら歩いていくひとたち、唐突な
突風で倒壊しそうになったテントを支えてくれたガジュマルの木、吹き抜ける空の風のなかを、がんばって、と言いに来
てくれたたくさんの人たち。

このテントでの生活は、日常の少し左隣のことだったように思う。

占拠、という言葉から、遠ざかる僕と、テントが立ち続けることで生まれる、占拠性。

「占拠します。遊びに来てね。」



5

あれは、占拠だった、の、だろう。

byぼち。

food

連載・占拠飯
文＝真

「サムゲタン(鶏の丸煮込み)からトマトソースパスタブイオン仕
立て、締めにかレーうどん」という魅惑的な占拠飯レシピを心待
ちにしてくださった読者は数多いことだろう。この”すきま”を
手に取ってくれた貴方だけに余すところなくお伝えしよう。

とりあえず、近所の精肉店かスーパーに走る。そこで鶏1羽分
を素早く購入。鶏ガラでもよし。(ガラというわりに潤沢に肉がつ
いているのは何か意味深な理由でもあるのだろうか。)そして、ス
ーパー内なら(あのjackassに間違われぬよう)興奮のしすぎに注
意してカートを転がし玉葱、生姜、ニンニク、人参、セロリ、長ネ
ギなどお好みの香味となる野菜を購入。ついでにローリエなどの
ハーブ類、中華風にしたいなら鷹の爪や八角も。占拠地に帰還
するなり大鍋に水を張り、鶏と野菜を水から煮る。酒も注ぐ。煮
続ける。アクも取りながら5時間ほど煮る(あれば、サクッと圧力
鍋でお手軽に☆)。よく煮えたなと思ったら、スープをザルで漉
す(鶏肉は手で骨から外しておき、野菜は別皿に)。するとどうだ
ろう、あなたの眼前にあるのは金色に輝くばかりの鶏スープだ。そ
こに塩胡椒で味を整える。それだけで既に美味しい。美味しいとは
一体なんなのかと思うほど美味しい。美味しいとはなんなのだろうか
。喜びである。思考の深淵に陥ることなく、次回へ続く。

豚汁 野菜たっぷりミネストローネ キャベツクリーム豆乳シチ
ュー ホイコーロー 人参しりしり あーさ汁 麻婆茄子 グリーンカレー 鶏
の冬瓜煮込み 宜野湾産トマトのとクリームのとチキンパスタ 鮭マヨのホ
イル蒸 鶏肉とパピヤーのバジル炒め 枝豆チャーハン 鯖の塩焼き 島
らっきょうの塩漬け ゼネストローネ ハンバーグ(バジ
ル とマシュルームのムースがけ トムヤムクン チンゲンサイ&ハンダマの豚ロース炒め(ご
ま味噌風味) 鍋 ローストビーフ カレーうどん じゃがいものプリ辛炒め春雨入り 名護